

ODENオープン学習会

シリーズテーマ

“人権教育が危ない
ピンチはチャンスだ”

2

国内の動きから

求められる人権教育とは？



講師：森 実さん（ODEN）

講師からのメッセージ

教育の現場では、さまざまな人たちが学習者として参加し、そのことを受けとめた活動が求められています。2010年代以後には、個別人権課題に関する法律が続々と誕生しました。その一方で、差別は強まっている面があります。求められているのは、自己肯定感だけでなく、差別・人権侵害を見抜く力を育み、実践的に行動できる力を培うことです。

2025年6月には、法務省から23年ぶりに「人権教育・啓発に関する行動計画（第2次）」が発表されました。こういう文書では、何が書いてあるのかもさることながら、何を書いているのかをつかみ取ることが重要です。こうした動きをふまえて、どんな人権教育が求められているのか、みなさんと一緒に考えます。

日時

2025年 **10月11日**（土曜日）
午後1時30分から4時30分まで

会場

大阪市立福島区民センター
大阪市福島区吉野3-17-23

参加費：500円（当日現金払い）

申込み方法

★二次元バーコードを読み取り、メールフォームから必ずお申込みください（未申込の方は参加できません）



申込締切：2025年10月6日（月曜日）

＼ 自分から出発して、社会を変える。多様性教育の輪を広げよう ／